

Weekly コラム

令和 4 年 11 月 1 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

産学協働による新たな インターンシップの周知・実践

経団連と国公立大学の代表者により構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が 2022 年 4 月に公表した 2021 年度報告書では、インターンシップを含む学生のキャリア形成支援における産学協働の取り組みの周知・実践に向けて、企業・学生・大学等にメッセージを提示しています。

以下でその内容をみていくと、まず企業に対しては、産学協議会が学生のキャリア形成支援活動について区分した 4 つの類型(タイプ 1:オープン・カンパニー、タイプ 2:キャリア教育、タイプ 3:汎用的能力・専門活用型インターンシップ、タイプ 4:高度専門型インターンシップ)に照らして、自社プログラムの実施形態等の再設計と推進を期待しています。また、各企業には、就業体験をきちんと盛り込んだインターンシッププログラムの拡大・普及への協力を期待しています。

次に学生に対しては、就職活動を始める前の段階で、4 つの類型のうちタイプ 1「オープン・カンパニー」、タイプ 2「キャリア教育」の積極的活用を期待しています。また、企業が実施するプログラムの参加にあたっては、各学生にとって当該プログラムに参加する意義を確認することを求めています。さらに、インターンシップの就業体験のほか、職場での実務体験を伴うあらゆる機会の積極的活用に加え、インターンシップ参加経験は採用選考に必須ではないことへの理解を求めています。

大学に対しては、同報告書における産学合意事項の正しい理解と周知・実践への協力及び学生が学業と両立した形で長期インター

ンシップに参加しやすい学内制度・仕組みの開発・実施を期待しています。

では、産学協働による新たなインターンシップの実践に向けて産学の間で具体的にどのような取り組みが行われているのでしょうか。そこで、企業と大学による新たなインターンシップ構築に向けた取り組みとして、島根県においてホームセンターを運営する株式会社ジュンテンドーと島根県立大学との間で構築された長期有償型インターンシップの取り組みについてみていきましょう。

島根県立大学では中期経営計画に基づき地元企業や行政機関と協力しつつ、長期・事業創造型インターンシップを推進し、地域の担い手となる人材育成に取り組んでいます。その一環として、島根県益田市に本社を置くホームセンターである株式会社ジュンテンドーとの間で長期有償型のインターンシップを 2019 年度より実施しています。

このインターンシップでは、「学生が地域貢献をテーマとし、地域になくはないものを探究すること」をテーマとして、参加学生が実際の店舗にて売場づくりに取り組んでいます。このインターンシップは 3 つのステップに分かれています。ステップ 1 では学生が店舗作業実習(商品出し、売り場メンテナンス、接客など)をしつつ、商圈調査を行います。ステップ 2 では、売り場づくりに関する社員研修に参加しつつ、売り場づくりのテーマや計画を策定し、実際に売場づくりを行います。ステップ 3 では、参加学生が自身の作った売場の販売状況を検証し、成果を社内会議で発表します。これらの内容は有償の「仕事」として参加学生が責任をもって担当し、活動期間も 4～5 か月程度と長期に亘ります。

このように産学協働により、就業体験を盛り込んだ課題解決型の長期インターンシップが構築されているのです。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。